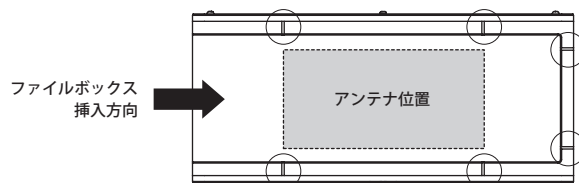


使用ガイドライン

本品をご使用の際は、RFタグの読み取り精度向上の為、下記1～4の使用ガイドラインをご参考ください。
なお貼付するRFタグは、書類管理用ラベル（積層タイプ）をご使用ください。
またファイルボックスは背幅106mm以下のものをご使用ください。

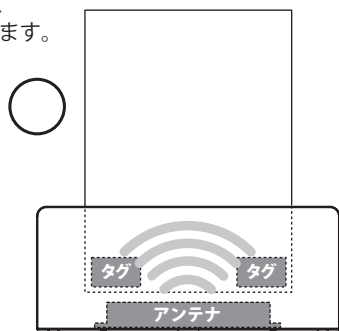
1 RFタグはアンテナ位置付近で読み取る

RFタグを読み取る際は、必ずアンテナ位置（点線枠内）付近で読み取りを行ってください。
アンテナの位置は、6箇所（丸枠）を参考にしてください。

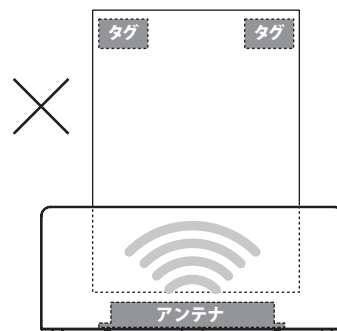


2 RFタグの貼付位置はアンテナ近くにする

RFタグは、アンテナ位置にできるだけ近い高さに貼付してください。
アンテナの読み取り面から離れた高さに貼付すると、RFタグの読み取り精度が著しく低下する恐れがあります。



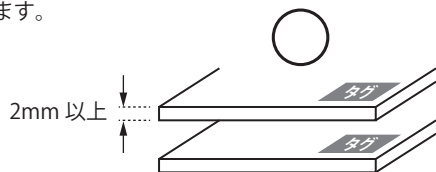
RFタグの貼付位置がアンテナに近い例



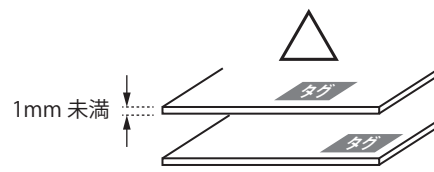
RFタグの貼付位置がアンテナに遠い例

3 RFタグの積層ピッチは2mm以上にする

RFタグの積層ピッチ（厚さの間隔）は2mm以上にしてください。
積層ピッチを小さくしすぎると、読み取り精度が著しく低下する恐れがあります。
RFタグの積層ピッチ2mm以上の確保が困難な場合には、タグの貼付位置を互い違いにすることで、読み取り精度が向上する場合があります。



RFタグの積層ピッチ2mm以上の例



RFタグの積層ピッチ1mm未満の例
※タグの貼付位置を互い違いにしてください

4 RFタグは移動させながら読み取る

RFタグの貼付された書類をファイルボックスへ入れて読み取りを行う際は、アタッチメントの手前から奥へと移動させながら、読み取ることを推奨します。
移動させながら読み取りを行うことで、読み取り精度が向上する場合があります。

読み取りテストには、専用デモアプリをご使用いただけます。
専用デモアプリは弊社HPよりダウンロードしてください。

